







第三類 定員 分隊長中少尉 機關中少尉及主計科尉官定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置

四六五

保		世										佐			
佐世保防備隊	高雄海軍航空隊	鎮海海軍航空隊	鹿屋海軍航空隊	大村海軍航空隊	空隊	佐世保海軍航空隊	霞ヶ浦海軍航空隊	鎮海要港部 (一部員)	佐世保海兵團	佐世保海軍軍需部 (一部員)	海軍工機學校	海軍航海學校	海軍通信學校	海軍水雷學校	海軍砲術學校
二	一		一	一	二	√+	√+	一	√	一	三	二	二	一	二
			√+	一	√			√	√	一 (附)					
由良	羽黒	足柄	那智	妙高	霧島	榛名	金剛	根拠地隊	青島方面特別隊	上海海軍特別隊	高雄海軍通信隊	佐世保海軍通信隊	羅津防備隊	鎮海防備隊	馬公防備隊
一	√	二	√	二	三	二	二	二	二	二	一	一	一	一	二
一	二	二	二	二	二	三	三	一	五						
一	一	二	一	一	二	一	一								
一	一	一	一	一	一	一	一								

内七





1225  
1226  
1227

第三類 定員 分隊長 中少尉 機關中少尉及主計科尉官 定員中 特務士官ヲ以テ充ツベキ位處

四六六

阿武隈	川内	北上	加賀	飛龍	能登呂	千歳	八重山	磐手	出雲	鳥羽	熱海	三見	佐多	昂
二	一	一	二	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一
野島	第二十一驅逐隊	第二十二驅逐隊	第二十三驅逐隊	第二十八驅逐隊	第二十九驅逐隊	第三十驅逐隊	如月	彌生	初春	栗	梅	蓮	第二十一潜水隊	三(各艦)
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二(初籍)	四(各艦)	三(各艦)	二(初風)	三(各艦)	二(各艦)	一(各艦)	一	一	一	一	一	一	一	一

内七 三七人







1230  
1231  
1232

朝	蔭						
英	蓉						
查							

第三類 定員 分隊長、中少尉、機關中少尉及主計科尉官定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置

四六八

第一水雷隊	四(各艇)						
第二水雷隊	四(各艇)						
第三水雷隊	四(各艇)						
第四水雷隊	四(各艇)						
第五水雷隊	四(各艇)						
第六水雷隊	四(各艇)						
第七水雷隊	四(各艇)						
第八水雷隊	四(各艇)						
第九水雷隊	四(各艇)						
第十水雷隊	四(各艇)						
第十一水雷隊	四(各艇)						
第十二水雷隊	四(各艇)						
第十三水雷隊	四(各艇)						
第十四水雷隊	四(各艇)						
第十五水雷隊	四(各艇)						
第十六水雷隊	四(各艇)						
第十七水雷隊	四(各艇)						
第十八水雷隊	四(各艇)						
第十九水雷隊	四(各艇)						
第二十水雷隊	四(各艇)						
第二十四驅逐隊	二(隊附)						
第一水雷隊	四(各艇)						
第二水雷隊	四(各艇)						
第三水雷隊	四(各艇)						
第四水雷隊	四(各艇)						
第五水雷隊	四(各艇)						
第六水雷隊	四(各艇)						
第七水雷隊	四(各艇)						
第八水雷隊	四(各艇)						
第九水雷隊	四(各艇)						
第十水雷隊	四(各艇)						
第十一水雷隊	四(各艇)						
第十二水雷隊	四(各艇)						
第十三水雷隊	四(各艇)						
第十四水雷隊	四(各艇)						
第十五水雷隊	四(各艇)						
第十六水雷隊	四(各艇)						
第十七水雷隊	四(各艇)						
第十八水雷隊	四(各艇)						
第十九水雷隊	四(各艇)						
第二十水雷隊	四(各艇)						
第二十四驅逐隊	二(隊附)						
第一水雷隊	四(各艇)						
第二水雷隊	四(各艇)						
第三水雷隊	四(各艇)						
第四水雷隊	四(各艇)						
第五水雷隊	四(各艇)						
第六水雷隊	四(各艇)						
第七水雷隊	四(各艇)						
第八水雷隊	四(各艇)						
第九水雷隊	四(各艇)						
第十水雷隊	四(各艇)						
第十一水雷隊	四(各艇)						
第十二水雷隊	四(各艇)						
第十三水雷隊	四(各艇)						
第十四水雷隊	四(各艇)						
第十五水雷隊	四(各艇)						
第十六水雷隊	四(各艇)						
第十七水雷隊	四(各艇)						
第十八水雷隊	四(各艇)						
第十九水雷隊	四(各艇)						
第二十水雷隊	四(各艇)						
第二十四驅逐隊	二(隊附)						

備

- 一 機關科分隊長ノ中横須賀海兵團、吳海兵團及横須賀海軍航空隊各一人ハ教官兼分隊長ノ位置ニ、東京海軍通信隊及高雄海軍通信隊各一人ハ隊附ノ位置ニ之ヲ充ツルモノトス
- 二 主計科尉官ノ中横須賀海兵團、吳海兵團及佐世保海兵團各二人、舞鶴海兵團一人ハ分隊長兼教官ノ位置ニ、廣東方面特別根據地隊、漢口方面特別根據地隊、青島方面特別根據地隊及舟山島基地隊各一人ハ分隊長ノ位置ニ之ヲ充ツルモノトス
- 三 海軍航空隊ノ兵科分隊長ハ兵科又ハ航空科ノ特務士官ヲ以テ、機關科分隊長(大湊海軍航空隊、大村海軍航空隊及鹿屋海軍航空隊ヲ除ク)ハ整備科ノ特務士官ヲ以テ充ツベキ位置トス
- 四 兵科分隊長ノ中横須賀海兵團一人ハ軍樂科ノ特務士官ヲ以テ充ツベキ位置トス
- 五 機關科分隊長ノ中横須賀海軍軍需部一人、横須賀海兵團二人、吳海兵團、佐世保海軍軍需部及佐世保海兵團各一人、機關中少尉ノ中赤城、蒼龍及飛龍各一人ハ整備科ノ特務士官ヲ以テ充ツベキ位置トス
- 六 機關科分隊長ノ中横須賀海兵團一人、吳海兵團三人、佐世保海兵團二人、大村海軍航空隊及鹿屋海軍航空隊各一人ハ工作科ノ特務士官ヲ以テ充ツベキ位置トス
- 七 各科分隊長ノ定員ナキ各部ニ在リテハ特ニ指定シタルモノノ外其ノ定員表中少佐、大尉又ハ尉官ノ位置ニ之ヲ充ツルモノトス
- 八 兵科分隊長ノ中霞ヶ浦海軍航空隊 五人(横須賀鎮守府 二人、佐世保鎮守府 各二人)、横須賀海軍航空隊六人及鈴鹿海軍航空隊五人ハ教官兼分隊長ノ位置ニ、吳海兵團三人ハ教官ノ位置ニ之ヲ充ツルモノトス

内七



1230  
1231  
1232

昭和十四年十月十四日

内務省令  
第二十號

第三類 定員 分隊長、中少尉、機關中少尉及主計科尉官定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置

四六八

府	備
鳴戸	一 兵科分隊長ノ中横須賀海軍航空隊五人及鈴鹿海軍航空隊一人ハ教官兼分隊長ノ位置トシ、吳海兵團五人ハ教官ノ位置トシ、充ツルモノトス
壺戸	二 機關科分隊長ノ中横須賀海兵團、東海兵團及横須賀海軍航空隊各一人ハ教官兼分隊長ノ位置トシ、東京海軍通信隊及高雄海軍通信隊各一人ハ隊附ノ位置ニ之ヲ充ツルモノトス
第三十四驅逐隊	三 主計科尉官ノ中横須賀海兵團、吳海兵團及佐世保海兵團各二人、舞鶴海兵團一人ハ分隊長兼教官ノ位置ニ、廣東方面特別根據地隊、漢口方面特別根據地隊、青島方面特別根據地隊及舟山島基地隊各一人ハ分隊長ノ位置ニ之ヲ充ツルモノトス
第一水雷隊	四 海軍航空隊ノ兵科分隊長ハ兵科又ハ航空科ノ特務士官ヲ以テ、機關科分隊長(大湊海軍航空隊、大村海軍航空隊及鹿屋海軍航空隊ヲ除ク)ハ整備科ノ特務士官ヲ以テ充ツベキ位置トス
四(各艇)	五 兵科分隊長ノ中横須賀海兵團一人ハ軍樂科ノ特務士官ヲ以テ充ツベキ位置トス
二(隊附)	六 機關科分隊長ノ中横須賀海軍軍需部一人、横須賀海兵團二人、吳海兵團、佐世保海軍軍需部及佐世保海兵團各一人、機關中少尉ノ中赤城、蒼龍及飛龍各一人ハ整備科ノ特務士官ヲ以テ充ツベキ位置トス
四(各艇)	七 機關科分隊長ノ中横須賀海兵團三人、吳海兵團三人、佐世保海兵團二人、大村海軍航空隊及鹿屋海軍航空隊各一人ハ工作科ノ特務士官ヲ以テ充ツベキ位置トス
一	八 各科分隊長ノ定員ナキ各部ニ在リテハ特ニ指定シタルモノノ外其ノ定員表中少佐、大尉又ハ尉官ノ位置ニ之ヲ充ツルモノトス
一	兵科分隊長ノ中霞ヶ浦海軍航空隊 五人(横須賀鎮守府 一人、佐世保鎮守府 各二人)、横須賀海軍航空隊 六人及鈴鹿海軍航空隊 五人ハ教官兼分隊長ノ位置ニ、吳海兵團 三人ハ教官ノ位置ニ之ヲ充ツルモノトス

内七  
三八

151

第三類 定員 分隊長 中少尉 機關中少尉 及主計科尉官 定員中 特務士官ヲ以テ充ツベキ位置

四六八ノ一

考

- 九 驅逐隊、潜水隊、水雷隊及掃海隊ニ在リテハ各指定ノ艦艇又ハ位置ニ配員スルモノトス
- 十 建造中ノ艦船ニ在リテハ其ノ定員ヲ置カレタルトキ配員スルモノトス
- 十一 本表 中各驅逐隊、潜水隊、水雷隊、掃海隊ニ於ケル主計科尉官ノ定員トアルハ當該定員表備考ノ規定ニ依リ置クコトヲ得ル士官ノ中一入ヲ主計科尉官ノ定員トシテ充テタルモノナリ

四七

1233

第三類 定員 （當分の間軍艦艇、駒橋及特務艦膠州ノ艦長、特務艦長中一人ハ大佐ヲ以テ補スルノ件、三吋砲以上ノ射手配員ニ關スル件） 四六八ノ二

●當分の間軍艦艇、駒橋及特務艦膠

州ノ艦長、特務艦長中一人ハ大佐

ヲ以テ補スルノ件 昭和六年十二月一日  
内令第二百二十四號

改正 昭和一〇年第一三二號

當分の間軍艦艇、駒橋及特務艦膠州ノ艦長又ハ特務艦長ノ中一人ハ大佐ヲ以テ補スルコトヲ得

●三吋砲以上ノ射手配員ニ關スル件

明治四十年三月十三日  
内令第三十七號

改正 大正二年第一七四號

一領守府所管内ヲ通シ各級定員ヲ超過セサル範圍ニ於テ在役艦及第一豫備艦ニ於ケル三吋砲以上ノ射手ニハ海軍定員令第十條ヲ適用シ上級者ヲ以テ次級者ノ位置ニ充ツルコトヲ得

●機關科及工作科特務士官以下定員

補充ノ件 昭和十三年十二月一日  
内令第二百二十四號

當分の間機關科及工作科ノ特務士官、准士官、下士官又ハ兵ハ各其ノ定員（臨時増減ノモノヲ含ム）ノ範圍内ニ於テ彼此相通シテ補充スルコトヲ得

●定員表備考ノ人員ヲ要スルトキ上

申ノ件 大正九年七月十九日  
内令第二百四十號

自今海軍各部ニ於テ其ノ定員表備考ノ規定ニ依リ必要ニ應ジ置クコトヲ得ヘキ人員ヲ要スルトキハ理由ヲ具シ特務士官准士官下士官兵ニ在リテハ在籍領守府司令長官ニ、士官文官其ノ他ノ者ニ在リテハ本大臣ニ上申スル儀ト心得ヘシ  
大正五年内令第二百七十六號ハ之ヲ廢止ス

丙七ニムニ

● 派遣勤務員規則

大正十二年三月十日  
内令第五十六號

派遣勤務員規則左ノ通定ム

派遣勤務員規則

第一條 海軍定員令第九條ニ依ル人員ヲ派遣勤務員ト稱シ之ニ  
關スル取扱ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外本則ニ依ル

第二條 派遣勤務員ヲ置クヘキ廳名及人員等ハ別ニ内令ヲ以テ  
之ヲ定ム

第三條 派遣勤務員ハ當該廳長ノ命ヲ受ケ服務シ其ノ身上取扱  
ハ當該廳ノ職員ニ準ス但シ海軍部外ニ派遣スルモノハ各其ノ  
定ムル所ニ依ル

第四條 派遣勤務員ノ命課ハ士官ニ在リテハ海軍大臣、特務士  
官准士官ニ在リテハ當該所屬長官之ヲ行フ

152  
第五條 派遣勤務員ノ派遣勤務中ノ給與ハ勤務廳ニ於テ支給ス  
ヘシ

附則

本則ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三類 定員 派遣勤務員規則

當分ノ間派遣勤務員ハ鎮守府附ヲ以テ之ニ充ツルヲ例トス  
甲廳ヨリ乙廳ヘノ派遣勤務員ヲ乙廳派遣勤務員ト稱ス  
海軍省臨時勤務員内規ハ之ヲ廢止ス

丙七  
ニハ  
三

1235

第三類 定員 派遣勤務員ヲ置クヘキ廳及人員

●派遣勤務員ヲ置クヘキ廳及人員

大正十二年四月一日  
内令第百十三號

改正  
大正二年第七七號、三年第五六號、第七二號、第一〇三號、第二五八號、  
第三二四號、四年第一二號、第八五號、第三二一號、一五年第六九號、第一  
六〇號、第二五四號、昭和二年第二四號、第二〇七號、第三五二號、三年第六三  
號、第三八號、第七四號、第二六八號、第三一〇號、第三四四號、四年第六八  
號、第二三號、第五八號、第三〇九號、第二六號、五年第七八號、第八八

派遣勤務員ヲ置クヘキ廳及人員等左ノ通定ム

號、六年第五九號、第八一號、七年第三九號、第五五號、第一二九號、第一四七號、  
第一七九號、第三三三號、八年第二〇號、第四九號、第六四號、第二二七號、第二  
五五號、第三八四號、九年第一三三號、第三一〇號、第四六三號、一〇年第一號、  
第一五七號、第二〇五號、第三八九號、第四七號、第四五五號、一一年第二  
五號、第三二七號、第三四九號、第三五四號、第三七七號、二年第三〇號、  
第四八二號、第六四三號、三年第四一號、第一七五號、第三九一號、第六一三  
號、第九四八號、第一〇一三號、第一〇二二號、五年第二六號、

四七二

1236

廳名		官階	員數	期間
海	大臣官房	主計少佐又ハ主計科特務士官	一人	當分ノ間
		兵科特務士官	一人 <small>(一人(海軍艦政本部附ヲ兼ヌルモノトス))</small>	
	軍務局	機關科特務士官准士官	一人	
		機關科特務士官准士官	一人	
	人事局	特務少尉 兵曹長	一人	
		特務士官	一人	
		兵科機關科佐尉官	一人	
	人事局	兵科機關科佐尉官	八人	
		主計科特務士官准士官 <small>(内關領守府在籍者一人)</small>	五人	

恒在係

内七 二八〇



153

第三類 定員 掌電信兵ノ配員ニ關スル件

運送艦	間宮	二	四
	隠戸	二	三
砲艦	知床、樺葉、佐多、鶴見、早鞆、鳴戸、 室戸、野島、洲崎	二	二
	鳥羽、比良、保津、勢多、 堅田、熱海、二見、伏見	三	五
海防艦	安宅、嵯峨	四	四
	洗	二	四
防備隊	横須賀、吳、佐世保、舞鶴	三	五
		三	五
	兵 (掌電信兵、高曹)		水 (掌電信兵、普兵)

四八三

●掌電信兵ノ配員ニ關スル件

昭和八年十二月二十二日  
内令第四百二十二號

當分ノ間掌電信兵タル下士官及兵ノ配員ヲ左ノ通定メ各定員ヨリ超過シタル人員ハ之ヲ臨時増置トス

注 昭和九年第三九號、第一九三號、第二三五號、第二九四號、第三三四號、  
第三五三號、一〇年第七八號、第二三號、二年第一〇七號、第一九二號、  
第二五三號、二年第一七五號、第二四七號、一四年第五七三號、五年第一五三號

丙七 二八五

1237

第三類 定員

飛行豫科練習生艦船派遣中航空隊職員ヲ派遣艦船ノ乗組等ト爲スコトヲ得ルノ件

四八四

測量艦 膠州

考備

大正十年内令第百二十三號豫備艦船ノ乗員補充區分ニ關スル件ハ前記人員ニ之ヲ適用スルモノトス

●飛行豫科練習生艦船派遣中航空隊

職員ヲ派遣艦船ノ乗組等ト爲スコ

トヲ得ルノ件

昭和十二年四月十三日  
内令第百五十四號

海軍練習航空隊規則第三十七條ノ規定ニ依リ飛行豫科練習生ヲ艦船ニ派遣シ艦務實習ヲ行ハシムル際必要ニ應ジ乗艦中其ノ教務ニ關與スル海軍航空隊職員ヲ派遣艦船ノ乗組又ハ派遣艦船ノ艦隊司令部附ト爲スコトヲ得

●普通科看護術練習生教標準超過

際當該海軍病院ニ人員臨時増置ノ件

昭和十五年三月五日  
内令第百四十三號

普通科看護術練習生ノ數二十人ヲ超過スルトキハ十六人(端數ヲ生ズルトキハ八人以上ヲ以テ十六人ト看做ス)ニ付看護兵曹一人(教員)ノ割合ヲ以テ事項發生一月前ヨリ同教程期間當該海軍病院ニ臨時増置スルコトヲ得

内七

1238